

結果の概要 中学校国語

全体的な傾向

- 「話すこと・聞くこと」（聞き取り問題）については、正答率が高い状況にある。
- 論理の展開をとらえて読むこと、文章の主題を考えたり要旨をとらえたりすること、登場人物の心情をおさえて読むことについて課題がみられる。
- 根拠をあげて自分の考えを論述する力に課題がみられる。

1 出題のねらい

- ①昨年度の課題を受け、「読むこと」においては、論理の展開をとらえて読む問題、文章の主題や要旨をとらえる問題、登場人物の心情をおさえて読む問題、「言語事項」においては、文の成分（修飾・被修飾の関係、補助の関係）、部首、行書、敬語の理解等を見るものを出題し、その定着状況をみた。
- ②「書くこと」において、本年度は第1・2・3学年とも、グラフをもとにして、根拠をあげて自分の考えを論述する力をとらえることをねらいとした。
- ③インタビューや電話での道順案内をもとにして「話す・聞く能力」を見るものなど、新たな内容も出題した。

2 学年別結果の概要

【第1学年】

	内容領域	正答率
1年	話すこと・聞くこと	73.3%
小5・6年	書くこと	65.6%
1年	書くこと	26.3%
1年	読むこと	61.5%
小3・4年	言語事項	45.0%
小5・6年	言語事項	82.0%
1年	言語事項	80.9%

【第2学年】

	内容領域	正答率
1年	話すこと・聞くこと	75.9%
1年	書くこと	70.1%
2・3年	書くこと	54.6%
1年	読むこと	56.0%
2・3年	読むこと	61.7%
1年	言語事項	74.5%
2・3年	言語事項	75.2%

【第3学年】

	内容領域	正答率
1年	話すこと・聞くこと	82.5%
2・3年	話すこと・聞くこと	96.5%
2・3年	書くこと	68.9%
1年	読むこと	80.4%
2・3年	読むこと	69.1%
1年	言語事項	74.1%
2・3年	言語事項	78.0%

評価の観点	正答率 (%)		
	1年	2年	3年
国語への関心・意欲・態度	52.5	59.8	68.9
話す・聞く能力	73.3	75.9	93.0
書く能力	52.5	59.8	68.9
読む能力	61.5	59.4	70.2
言語についての知識・理解・技能	79.0	74.7	77.7

3 今回のテスト結果からみた特徴

- 「話すこと・聞くこと」（聞き取り問題）については、第1・2・3学年ともに、正答率が高い状況にある。
- 「書くこと」において、第1・2・3学年ともに、グラフを読み、そこからわかったことをもとにして、自分の考えを論述する力に課題がみられる。また、推敲力を問う問題（1学年[6]一）については、やや改善はみられるものの、依然として課題が大きい状況である。
- 「読むこと」において、論理の展開をとらえて読むこと（第1学年[4]五、第2学年[5]（1）、（2））、主題をとらえて読むこと（第3学年[5]五）、要旨をとらえて読むこと（第1学年[4]四）、登場人物の心情をおさえて読むこと（第1学年[5]三、第2学年[4]（2））は、正答率が低くなっている。また、第2学年における、表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと（[5]（4））に課題がみられる。
- 「言語事項」において、敬語の理解（第3学年[3]一ウ）について改善がみられる。しかし、文の成分（修飾・被修飾の関係 第1学年[3]二、第2学年[3]（7）、補助の関係 第3学年[3]三）、行書（第3学年[3]四）の理解については、正答率が低く、依然として課題がみられる。
- 漢字を読む力は、ほぼ身につけていると考えられる。